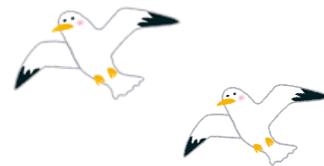


鷗 「中学生になって」

■ 学年だよりの由来

学年だよりのタイトルが「鷗」に決まりました。考案してくれたB組学級委員 さんによると、「鷗の白い翼のように、純粋で清らかな学年にしていきたい」という願いが込められているそうです。また、鷗のシルエットは様々な場面でシンボルや象徴として用いられていることから、自分たちの学年の象徴として「鷗」を掲げていきたいという想いも込められています。

そして、タイトルに記された「鷗」の文字は、B組学級委員 さんが心を込めて書いてくれました。温かみのある筆致が、学年だよりに特別な彩を添えてくれています。



■ 中学生になって

先日、「中学生になって」というテーマで作文を書きました。新しい環境に対する期待や不安、友達や授業のこと、学校生活での目標など、それぞれの思いが綴られています。

ここでは、その中から一部生徒の作文を紹介します。生徒たちがどのような気持ちで中学校生活を歩み始めたのか、ぜひお読みください。

(No.3ではA組、No.4ではB組、No.5ではC組を掲載いたします。)

「新しい1歩」 1年A組

桜が咲き始めたこの日、私は中学校に足を踏み入れた。新しい1歩の始まりだ。

小学校との距離はそんなにはないけれど、小学6年生と中学1年生の距離は決して近くはない。新しい学校、新しい教室、新しい制服、新しい先生、クラスメイト。すべてが変わった。このすべてが変わった所で私は何がしたいのだろうか。

先輩やクラスメイトと仲良くしたい。でも勉強もおこたりたくはない。両立できる方法を1学期に見つけたい。それを2学期、3学期に実現したい。小学校とは違って中学校は3年間しかない。この3年間を私は大切にしたい。

部活に入ったら帰る時間がおそくなる。でも部員とのこの時間を楽しく過ごしたい。少しよくばりなお願いだけど実現したい。でも実現するのは決して簡単ではない。先生や先輩方、クラスメイトの手伝いが必要になる。みんなも自分の新しい1歩がある。

その時は、その人たちの力になればいいなと思う。私の新しい1歩は世界に1回しかない。みんなも世界に1回しかない新しい1歩をもっている。この1歩で私の3年間もしくはもっと多くの運命が変わるかもしれないから、使い方を考えようと思う。良くなるのか悪くなるのかは自分次第。このチャンスを必ずむだにはいけない。だって1回しかないのだから。

「中学校は挑戦の舞台」 1年A組

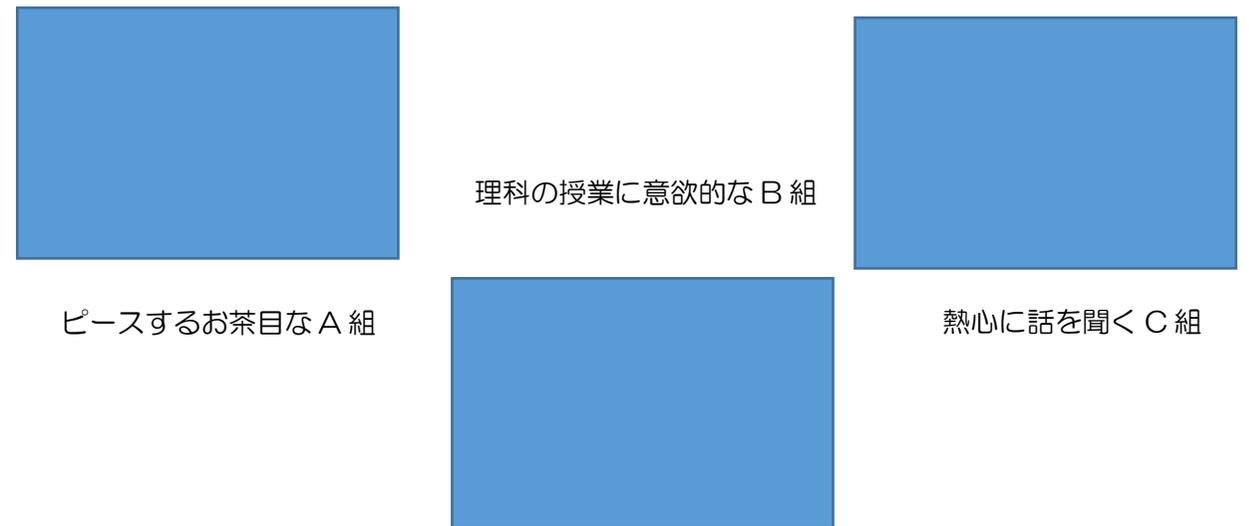
私は小学生のころ、あまり「挑戦」ができませんでした。授業での発表も、苦手な教科の勉強も、今まではできるだけ避けていました。その結果、後悔したことはたくさんあります。

でも、「このままでは自分はいつまでも成長できない」と、ある日ふと考えました。そこで私は、中学では何事にも挑戦するという目標にして、その言葉を胸に入学式をむかえました。

中学生になって初めてのクラス分けでは、仲の良かった友達とは何人も離れてしまいました。それでも、1Aには優しい人がたくさんいて、新しい友達も何人かできました。

中学1年生になった今、新たな出会いと、たくさんの困難が私たちを待っています。しかし、それらを新たな仲間たちと乗り越え、共に成長し、様々なことに挑戦していきます。

■ 学校生活の様子



～来週の予定～

28	月	5時間授業 (①カット) 部活動再登校 16:00
29	火	昭和の日
30	水	6時間授業 ⑥専門委員会
5/1	木	6時間授業 体カテスト(始)
5/2	金	5時間授業 (⑥カット) ⑥保護者会・部活動保護者会 部活動再登校 16:00